

平成 29 年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	特定非営利活動法人 YouthCreate (原田謙介)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)	野村教育研究所			
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	選挙管理委員会事務局		電話	086-803-1545 内線 4803
	担当者 2名	職名	選挙担当課長	職名	主査
		氏名	薬師寺孝雄	氏名	松永倫明
事業の名称	若者と政治をつなぐ場づくり事業				
本事業により解決を目指した課題とその成果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>課題：投票率の低さに象徴される、若者の政治参画低迷</p> <p>解決方法：若者が街や身近な政治に興味を持つことができ、多様な人と話し合える場（スポット）を作る。イベントや日常でのスポットの会話などにより、参加者の関心を高める。 94 人のメンバー登録があり、延べ 216 人の来場者があったが、この人数は多いとは言えない。しかしながら、「いろいろな話ができる」「岡山市の政治だけでなく、自分とは違う価値観の方々と関わることができる」といった声もあり、来場者への一定の効果はあった。</p>				
市と協働した内容と協働の効果	<p>1. 団体が果たした役割 若者が街や身近な政治に興味を持つことができ、多様な人と話し合える WASAOSPOT の運営を行った。週 2 回の通常開催に加え、イベントも実施。 多くの中高校生や大学生が訪れ、政治や街について知り、話し合う場となった。</p> <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割 市内の各学校へ、教育委員会と連携をしながらの WASAOSPOT の告知チラシの配布 市役所の各部局と YouthCreate メンバーをつなぐこと</p> <p>3. 協働した効果 選管が持っている組織内のつながりなどをもとに、多くの中高校生に WASAOSPOT の存在を知ってもらえた。 各部署の方に、岡山市としてのより詳細な計画などを教えていただき、SPOT の日常やイベントの際に活用することが出来た。</p>				
事業の内容 ※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)	<p>1 : WASAOSPOT の運営 2 : 定期的なイベントの開催 3 : 掲示物などの作成 詳細は別紙参照</p>				

平成29年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	若者と政治をつなぐ場づくり事業
------------	-----------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	300,345	
	その他		
自己資金等合計(a)		300,345	
事業収入	イベント参加費	4,000	6/24 オープンイベント参加費 @500×6=3,000 12/16 写真イベント参加費 @500×2=1,000
事業収入合計(b)		4,000	
その他収入			
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,727,000	
収入合計(e)=(a)+(b)+(c)+(d)		2,031,345	

<支出>

費目		金額	内訳	証拠書類番号
事業実施経費	事業実施人件費	1,078,200	スポット運営スタッフ(9名)人件費	別紙参照
	アドバイザー人件費	100,000	運営アドバイザー人件費	
	活動拠点賃料	64,000	@8,000×8ヶ月	
	研修費	1,370	研修時の消耗品購入費	
	広報費	222,980	広報用チラシ制作・印刷費、郵送費等	
	イベント開催費	58,573	ゲスト謝金、旅費、チラシ印刷費等	
	情報掲示費	12,099	文房具・消耗品費、プリペイド携帯購入費等	
	雑費	10,177	スポット用茶菓子代、資料コピー代等	
	事業実施経費合計(f)		1,547,399	
管理運営経費	管理運営人件費	406,250	当法人運営スタッフ人件費	別紙参照
	OA機器レンタル費	47,286	パソコンレンタル代等	
	雑費	30,410	運営スタッフ旅費	
管理運営費合計(g)		483,946		
総事業費(h)=(f)+(g)		2,031,345		

- (添付書類) 1. 領収書等支払を証する資料は費目ごとに分けて写しを添付してください。
2. 高額となる経費については、印刷した現物や証拠写真などを添付してください。